市政に対する一般質問

～～10名の議員が質問～～

12月定例会の一般質問は、12月18日・19日の2日間にわたり行われました。質問の要旨は次のとおりです。

松野　久郎	白石市公共施設等総合管理計画について	他
澁谷　政義	子育て支援・多世代交流複合施設について	他
佐久間儀郎	除排雪・融雪対策について	他
伊藤　勝美	平成30年度予算編成について	他
菅野　恭子	骨髄移植などで抗体を失った小児へのワクチン再接種の費用助成について	他
佐藤　秀行	市独自の教育～35人学級～について	他
佐藤　龍彦	就学援助の新入学学用品費の入学前支給について	他
保科善一郎	本市の地方創生について	他
菊地　忠久	子育て支援・多世代交流複合施設について	他
大野　栄光	イベント時のバスの運行について	他

白石市公共施設等総合管理計画について

松野　久郎

〔質問〕公共施設のあり方について、財政圧迫が必至であることから、早期に対策を講ずることが直近の課題と考えるが、市長の所見を伺う。

〔答弁〕【市長】今後、策定する個別施設計画、再配置計画の中で検討するが、施設の状況等により早急に対処すべき案件については、随時検討する。

〔質問〕早期に対策を講ずる施設について、具体的な計画を伺う。

〔答弁〕【市長】早期に対策を講ずべき施設の一つとして、いきいきプラザを検討している。建物の劣化も激しく、多額の修繕費が必要な状況である。

〔質問〕インフラ施設においても、直近の課題への対策をどのように講じていくのか伺う。

〔答弁〕【市長】道路、橋梁、上下水道施設などのインフラ施設も、壊れたら直すという従来の対処方法だけでなく、壊れる可能性があるかを事前に調査し、修繕すべきものがあれば早めに修繕することで長寿命化を図る。

◎農商工連携を核とした賑わい交流拠点整備事業について

〔質問〕本事業において、子育て支援・多世代複合施設の利用者数想定を年間8万人とした根拠を伺う。

〔答弁〕【子ども家庭課長】子どもの屋内遊び場を運営している近隣市町に聞き取りを行い、1日当たりの入場者数を参考に、平日150人、土日・祝日500人と推計し、年間8万人と想定した。

〔質問〕有料と考えているとのことだが、近隣の施設はほとんどが無料で利用できる現状の中で、有料でも利用していただけるような施策があるのか伺う。

〔答弁〕【市長】近隣市町にはない様々な工夫を凝らし、有料で運営してもリピーターの確保など集客につながるよう努めていく。

〔質問〕集客数アップを目指し、ドッグラン（犬の運動広場）などを導入する工夫も必要と考えるがいかがか。

〔答弁〕【市長】限られたスペースで取り入れられることがあれば、いただいたアイデアを参考にしたい。

【その他の質問】

◎小中学校統廃合の準備状況について